



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2665 2025-3-14

創 立 1969. 5. 30
幹 事 野村 篤

会 長 石 濱 宏 章
会報委員長 元 氏 成 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ
事務所〒542-0012 大阪市
中央区谷町9丁目1番22号
NK谷町ビル407号
TEL (06) 6796-9898
FAX (06) 6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: jonan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場シェラトン都ホテル大阪
上本町6-1-55
TEL (06) 6773-1111
例会日 金曜日 12:30



2024-2025 年度 RI 会長
ステファニー・A・アーチック

本日の例会

3月14日 (第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「めまいのお話」

土井勝美会員担当

耳からのめまい、脳からのめまいについてお話しします。

- 次年度理事会 シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 食膳 <フランス 魚料理>

次週のお知らせ

3月21日 (第3例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「二つのモットー」

光信昌明研修リーダー担当

- 食膳 <中国 御膳料理>

次々週のお知らせ

3月28日 (第4例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- ディスカッション「大阪城南ロータリークラブの今後について」

先週の記録

3月7日 (第1例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

出席会員 33名(内免除会員 10名)
会員総数 42名(同上 14名)
ゲスト 1名
ビジター 0名

計 34名

ホームクラブ出席率 86.84%
2月21日(第3例会)補正出席率 97.29% (MU4名)

ゲスト&ビジター(敬称略)

櫻井満夫(卓話者)

会長の時間



皆様こんにちは、3月は水と衛生月間です。

世界では、安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。私たちの世界活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供し

<4つのテスト>言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

た上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

日本に目を見向ければ、令和6年1月1日、能登半島を震源とする地震では、水道インフラが大きな被害を受け、地震発生から一年以上が経った今も広い地域で断水が続いています。各地域のロータリークラブでは、障がい者施設や避難所への飲料水の配付をはじめ、井戸用の電動ポンプの提供や移動式お風呂カーの運用など、水に関する不便を解消するための支援を継続して行っています。

石川県輪島市では、地震の影響でほぼ全域の1万1,000戸余りが断水しました。2月下旬までに約3,400戸で断水が解消されましたが、今もなお多くの家庭や避難所で水道が使えない状況が続いています。料理や飲用に水道水が使えないだけでなく、入浴やトイレ、洗濯や歯磨きにいたるまで、水を自由に使用できず、人々は大きな負担を強いられる不便な生活を余儀なくされています。

長らく断水が続いていた輪島市町野町金蔵地区では、以前使われていた「休眠井戸」を復旧させ、生活用水として利用する計画が進められていました。能登地区のロータリークラブは、地域の人々からの要請を受けて、井戸から水を汲み上げる電動ポンプを提供しました。ポンプを井戸に取り付け、つながれた管から水が勢いよく出た瞬間、大きな歓声があがりました。

(ロータリーの友より引用)

幹事報告



- ①地区より、カルガリー国際大会R I 理事主催親善朝食会のご案内が届いておりますので、佐伯国際奉仕委員長に回付しております。
- ②4月11日は夜間例会となっております。豊原北区RC、香港島東RCとの合同例会ですのお昼に例会はありません。当日は、19時よりシェラトン都ホテル大阪4階、大和の間西にて開催いたしますので、宜しくお願い致します。
- ③3月度のロータリーレートは1ドル150円となっております。

卓話



「児童自立支援施設の現状」

児童自立支援施設 大阪府立修徳学院 櫻井満夫様
(小林治彦会員担当)

児童自立支援施設「修徳学院」は児童福祉施設の一つで、生活指導を要する非行少年が入所するという特徴をもっています。近年の主な入所理由は、男の子は性的非行・乱暴・家出・窃盗、女の子は家出浪・乱暴・性的非行となっています。ただ、これらの問題行動の背景には、親の離婚や薬物依存、虐待、経済的困窮やネグレクトなど、深刻な家庭環境の問題があり、子どもであるが故に翻弄されるしかないという側面があります。従って子どもたちの問題行動は被害的状況に晒された結果でもあります。

そうした子どもたちに対し、修徳学院は、小舎夫婦制という、実際の職員夫婦がわが子も含め入所児童らと大家族を形成し、父母役として家族的に共に暮らし、一人一人にきめ細かに寄り添い、愛着信頼関係を築き、生きる力を身に着けてもらっています。この家族的支援は、明治中期



の先駆者たちによって始められました。明治初期までの「懲らしめ治す」という対応では根本的な非行の芽を摘むことはできないとし、温かな生活環境の下、適切な教育を提供しながら「育てなおす」ことが実践され出したのです。

時を経て、法的設置義務も整備され、現在全国に58施設が存在します。そして、この家族的支援を実現するために培われてきた大切な精神があります。「WITHの精神」と呼ばれるものです。児童にとって特別な父母的存在となる寮長・寮母が、共に暮らし、学び、働き、苦しみ、喜び・・・つまり、日常の様々な気持ちを子どもと共有、共感するというものです。信頼できる人との「つながり感」を体感する経験は、やがて出会う大切な人への信頼感や安心感につながります。

近年子どもの支援において家族的な関りが見直されていますが、児童自立支援施設は名実ともに家族的支援を実行してきました。住み込み型であるため、働き方改革などの逆風もあるのですが、子どもにとっての家族の意味を考えてもらえる施設であると思っています。

例会風景

3月誕生日お祝い
今井会員



ニコニコ箱

3月7日(第1例会)

- ・石濱会長 大阪府立修徳学院企画調査課長、櫻井様、本日卓話よろしく申し上げます。
- ・野村幹事 元氏さん、退院おめでとうございませう。
- ・三宅会員 仕事で大チョンボしました。皆さんすみませんでした。
- ・山本(智)会員 櫻井様、本日の卓話宜しくお願い申し上げます。
- ・元氏会員 良性の腫瘍を除去する手術のため入院し、先週の例会を欠席しました。手術痕がまだ痛々しいですが無事に成功しています。ご心配をおかけしました。
- ・細川会員 今日の食事2人分いただきました。ごちそうさまでした。
- ・佐伯会員 先週、年末家族会で頂いた都ホテルチケットで母、妻と四川にて食事をさせていただきました。楳垣さん、お世話になりました。裏メニュー美味しかったです。
- ・佐伯会員 結婚30周年、30年前当ホテルにて結婚式を挙げました。
- ・古川会員 気づけば20回連続となりました。これからもよろしく申し上げます。

本日のニコニコ合計：54,000円

本年度ニコニコ累計(2025年3月7日現在)：1,494,900円

3月のロータリーレート
1ドル=150円

(編集担当 小林(治)・遠田)

3月は 水と衛生月間